

## U15 長崎県選抜代表女子ラグビーが歴史の 1 ページを刻む

平成 24 年 4 月 15 日に宗像グローバルアリーナで九州セブンスが行われた。

各県で予選を勝ち進んだ大学・社会人チームが、東京セブンス出場かけて熱戦が繰り広げられた。女子も各県の選抜代表選手が、67 人が集まり、注目を浴びた。

長崎県のメンバーは、中学 3 年生の沖野真妃選手・森あや選手を軸に残り 7 人が中学 1 年生のメンバーで挑んだ。そして、長崎レディースが活動開始して、初の単独チーム出場となり、長崎県女子ラグビーの歴史の 1 ページを刻んだ。

中学 1 年生主体になるので、得点の大差が予想されました。1 試合目の宮崎・大分混合チーム戦は、日頃 FW している選手を BK にするなど BK に 3 年生を置く戦略で臨み、個々のディフェンスがしっかりしていたので、以外に得点の差がつかず、20 対 7 のスコアで善戦したが黒星スタート。

2 試合目の強豪福岡戦は、1 試合目の修正を BK から FW へ本来のポジションに選手を戻し、1 試合目よりも組織ディフェンスが機能して、29 対 0 のスコアの内容ですばらしいゲームになりましたが、この大会 2 敗で終わりました。フィットネスはもちろんのこと、ロングパスのスキルとスペース作りに課題が残りました。

選抜代表単独出場で白星はつきませんでしたでしたが、好ゲームだったので、子供たちの顔は、達成感に満ち溢れていました。

1、沖野真妃	島原 RS
2、森 あや	島原 RS
3、峰ひとみ	長崎 RS
4、横田楓	中央 RS
5、柴田美幸	島原 RS
6、楠元なつみ	島原 RS
7、吉田桃菜	島原 RS
8、森瀬詩乃	島原 RS
9、歙取和佳	島原 RS

